

第9回中部圏認定病理検査技師企画・病理技術研修会

主催：(一社)岐阜県臨床検査技師会

テーマ 『 病理医が教える ～中物病理切り出しの重要ポイント～ 』

日 時 : 2025年8月30日(土) 13時00分～17時00分 (12時40分から受付開始)

開催方式：現地開催 修文大学 〒491-0938 愛知県一宮市日光町6

定 員 : 80名

主 催 : 岐阜県臨床検査技師会

参加費 : 4000円

研修概要：

肉眼診断が重要となる切り出しは主に医師が担当することが多い業務であるが、それを補助する臨床検査技師においても十分な知識と技術の習得が求められる。本研修会では、医師との円滑な連携のもと、質の高い検体処理を実現するために、臨床検査技師が習得すべきスキルについて学ぶことを目的としている。切り出しにおける役割と責任を理解し、実践的なスキル向上を目指すことの重要性を伝える。

【講演内容】

13:00～14:00 講演1 皮膚病変の臨床から病理診断(仮)

京都大学医学部附属病院 病理診断科 藤本 正数 先生

14:00～14:10 休憩(10分)

14:10～15:10 講演2 大腸病変の臨床から病理診断(仮)

名古屋大学医学部附属病院 病理診断科 佐藤 啓 先生

15:10～15:20 休憩(10分)

15:20～16:50 講演3 切り出し実習

模擬検体を使用します(株式会社 京都科学へ依頼中)

講師 京都大学医学部附属病院 病理診断科 藤本 正数 先生

名古屋大学医学部附属病院 病理診断科 佐藤 啓 先生

問い合わせ先 岐阜県臨床検査技師会病理細胞検査部門・中部圏認定病理検査技師の会

株式会社中部パソロジー 大鹿 均

[TEL:058-201-1750](tel:058-201-1750)

Mail: ooshika@chu-patho.co.jp